

# 未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより11月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
平成29年11月2日発行 Vol.29-11  
校長 橋本 和男

## 「鶴嶺小あいさつのモットー」

**あ** あたたかな心で  
**い** いつもみんなと  
**さ** さわやかに  
**つ** つながろう

## 「あいさつ」は、何のためにするのか？考えよう

毎朝、鶴嶺通りの太鼓橋の横断歩道で、登校指導に立っています。後期に入って、自分から挨拶ができる児童が増えて、とても嬉しく思っています。素敵な挨拶をしてくれた子の表情をみると、目がキラキラ輝いています。

私は、いつも「今日もよく学校にきたね！一日元気に頑張ろう！」との気持ちで「おはよう！」という言葉を一一人ひとりに声かけしています。また、校舎の廊下ですれ違ったときには、「こんにちは！」と、

「楽しく学習していますか？次の時間は何を学習するの？」との気持ちを伝えていきます。

自分から挨拶する児童は、私にどんな気持ちを届けてくれているのでしょうか？直接聞いたわけではありませんが、「今日も僕は元気だよ！」「私のクラスでは、今日、こんなことをするんだよ！」などのメッセージが伝わってきます。

このように挨拶は、人と人との心をつなげる「魔法の言葉」と言ってもよいでしょう。でも、毎日会ってお互いに知っているのに、なぜ挨拶するのでしょうか？今日もまた、一緒に仲良く生活したり学習したりしましょうとの「始まりの言葉」なのでしょう。人と人との良い関係は、さわやかな挨拶のつながりの「きっかけ」が必要なのでしょう。

10/12（木）の始業式、後期の学校生活について全校児童にお話をしました。自分から挨拶ができるのは「かしこい子」。それは、挨拶をする意味が自分でわかっているのです、自分からできるという内容です。また、「やさしい子」は、自分の周りの人を大切にします。だから、自分から心を開いて挨拶できると話しました。

後期は、鶴嶺小学校にもっともっと、挨拶で心と心をつなげていきましょう。そのために「鶴嶺小あいさつのモットー」を始業式で発表しました。「あたたかな心で いつもみんなと さわやかに つながろう」。朝、担任の先生に元気よく「おはようございます！」。学級の友だちに会ったら、あたたかな心で「おはよう！」。登校や下校の時には地域の皆さんに、「おはようございます！」「いつもありがとうございます。」たくさんの人と、さわやかにつながっていきましょう。



グリーンベルトの設置

10月20日の文書でお伝えしましたが、鶴嶺小学校～鶴嶺中学校間の市道に「グリーンベルト」と「スクールゾーン」の路面標示を敷設しました。この道路は、通学時間には、小学生と中学生がお互いに反対方向に歩くこととなります。自動車や自転車の通行も多くあります。

このたび、グリーンベルトの敷設が完了しましたので、歩行者は「グリーンベルトの東側」を歩行することにしたいと思います。

中学校の方の道はカーブが多く危険な箇所なので、同じくグリーンベルトの敷設を要望したのですが、道路の幅員が狭く、認可がおりませんでした。この区間も、東側を一列で歩くようにしましょう。鶴嶺小「歩く時の五つの約束」の②「道路は広がらないで、内側を一列であるこう！」安全第一、みんなで守っていきましょう！